

## 高崎高校 全日制 学校評価の概要（令和5年度）

○ 主な成果：特色ある学校づくり	健康で規則正しい学校生活	情報発信
○ 主な課題：高い志	交通安全	いじめの防止や早期発見

学校評価にご協力いただいた皆様には、率直な評価やご意見ありがとうございました。結果を踏まえ、更なる学校改善に取り組んでまいります。引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 1 特色ある学校づくり

自己評価※1	学校関係者評価※2
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3F精神に基づく教育活動 A</li> <li>・ 真の文武両道 A</li> <li>・ 充実したSSH活動 A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特色ある高校づくりができています。</li> <li>・ 生徒の自主性を重んじた活動は望ましい。</li> <li>・ 目標や目的が明確である。</li> </ul>

〈今後の改善方策〉3F精神の涵養を軸に置きつつ文武両道の伝統とSSHの先進性を生かして主体的な意識の高揚を図り、活力ある高生生の育成と活気ある学校づくりを推進します。

### 2 学習活動

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の満足感 A</li> <li>・ 図書館の利用 B↓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の興味・関心を高める指導ができています。</li> <li>・ 各教科での読書指導が必要である。</li> </ul>

〈今後の改善方策〉SSH事業を効果的に運用し、未来を見据えた学際的なカリキュラムの拡充やICT活用とともに、課題解決力を伸ばす質が高く内容豊かな授業の進化を図ります。

### 3 学校生活

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめの防止や早期発見 B</li> <li>・ 健康で規則正しい学校生活 A↑</li> <li>・ 交通安全 B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織的な指導を継続してもらいたい。</li> <li>・ 保健指導と家庭との連携の成果である。</li> <li>・ 交通マナーの遵守と交通事故防止は継続的課題。</li> </ul>

〈今後の改善方策〉健康と安全への理解を一層深め、学習環境と教育設備の整備に努めるとともに、主体的な学校生活の充実と自律的な生活意識の向上を図ります。

### 4 進路選択

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高い志 B↓</li> <li>・ 進路実現に向けた行動 A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低学年の学習時間については内容の精査が必要。</li> <li>・ 文理にとらわれない思考の育成も大切。</li> </ul>

〈今後の改善方策〉SSH活動やOB、大学等と連携した進路関係行事とともに個別面談の充実や有効な情報提供を図り、3年間を見通したキャリア教育を組織的・計画的に推進します。

### 5 開かれた学校づくり

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PTAからの信頼 A</li> <li>・ 情報発信 A↑</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業公開をさらに増やしてもらいたい。</li> <li>・ 昨年度に比べてWebページが充実した。</li> </ul>

〈今後の改善方策〉家庭・同窓会・地域等と連携した教育力を一層重視し、連絡網の充実を図るとともに、社会課題も踏まえた取組や情報発信を推進します。

### 6 教育のデジタル化

自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICTを活用した指導 B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手段としてICTを適切に活用してほしい。</li> </ul>

〈今後の改善方策〉生徒の実態を把握した上で、効果的にICTを活用していきます。ICTを活用して業務改善も推進します。

※1 自己評価：生徒・保護者・職員へのアンケート等を踏まえた評価(目標達成度)↑↓は昨年度からの変化

A 十分に達成できた B 達成できた C もう少しで達成できた D 達成できなかった
--

※2 学校関係者評価：学校の自己評価結果に対する学校評議員会(地域の学識者、経営者、保護者等6名からなる組織)の意見等。